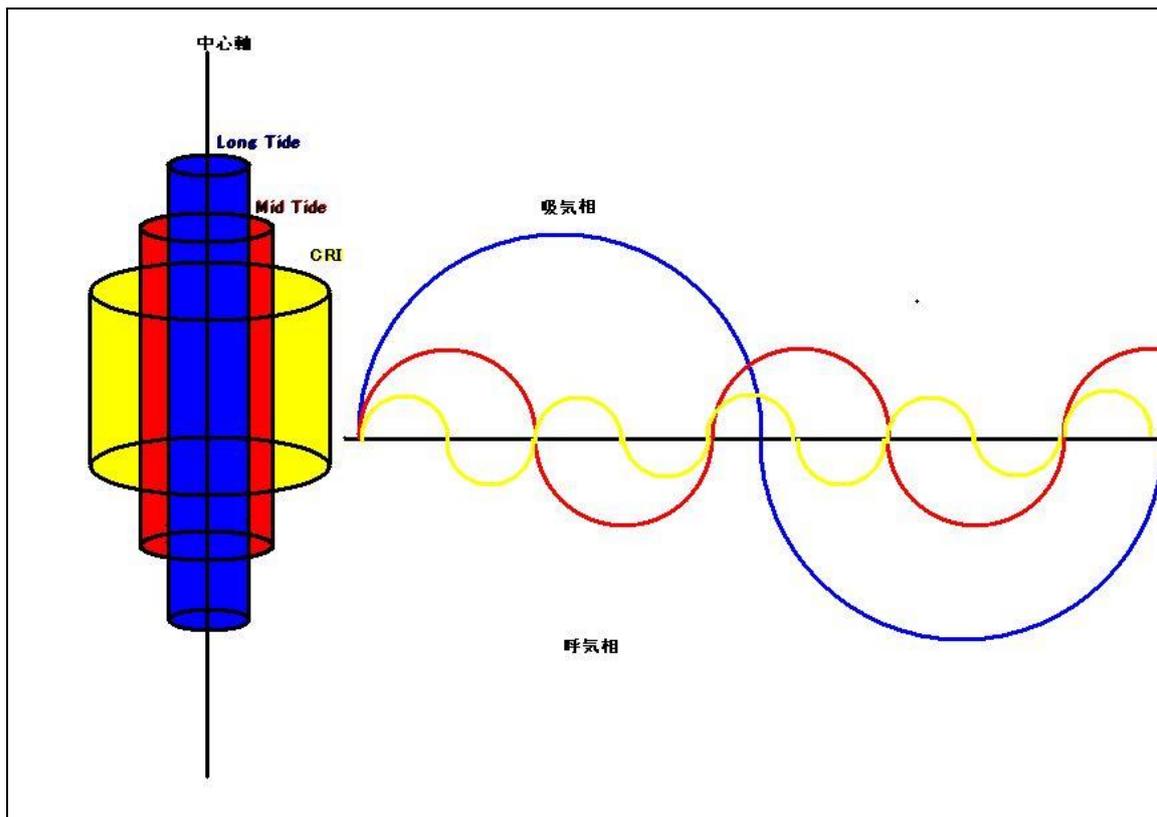


# Step.3



2021年12月

19日 (日)

(有)フェリックス



## Step.3 コンテンツ

1. CV-4&EV-4
2. 電磁場的な身体

# 1. CV-4&EV-4

## CV-4&EV-4

CV-4とは『第4脳室圧縮/Completion Ventricle-4』のことです。EV-4とは『第4脳室拡張/Expansion Ventricle-4』のことです。

それぞれ第4脳室に働きかけます。

第4脳室とは右図の赤い部分で小脳の前方にあります。

青い部分は側脳室、第3脳室を示しています。

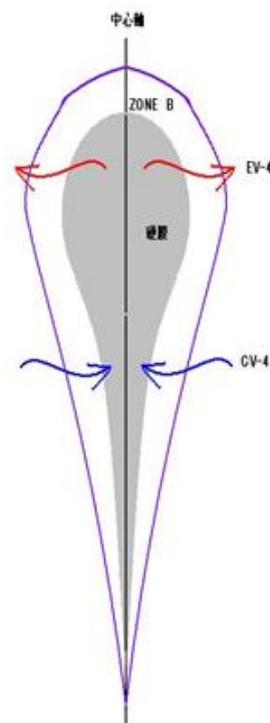
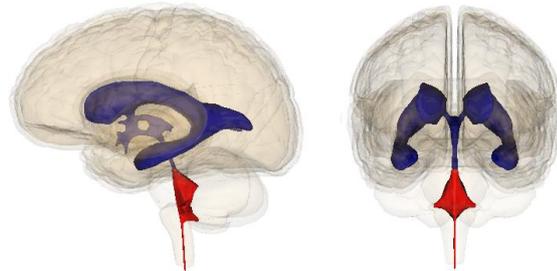
脳室とは脳脊髄液が産生される脳内の腔。ヒトの場合、左右一対の側脳室と、正中に第三脳室、第四脳室が一つずつの、計四つの脳室がある右図。これらは相互に連絡があり、くも膜下腔へと接続されることで、脳脊髄液は脳室内を循環し、脊髄そして末梢神経を介して全身を巡ります。

CV-4は第4脳室を圧縮することで、脳脊髄液の産生を活発にします。

EV-4は第4脳室を拡張することで、脳脊髄液を身体全体に分配します。

ただし、これは ZoneA での概念です。

ミッドタイドでは、ZoneB までが対象となります。この時は第4脳室を越えて、ZoneB の中心軸に対して働きかけます。



Ex.1 CV-4 は呼気(伸展相)で止めて待ちます

Ex.2 EV-4 は吸気(屈曲相)で止めて待ちます

## 2. 電磁場的な身体(脳レベル 4)

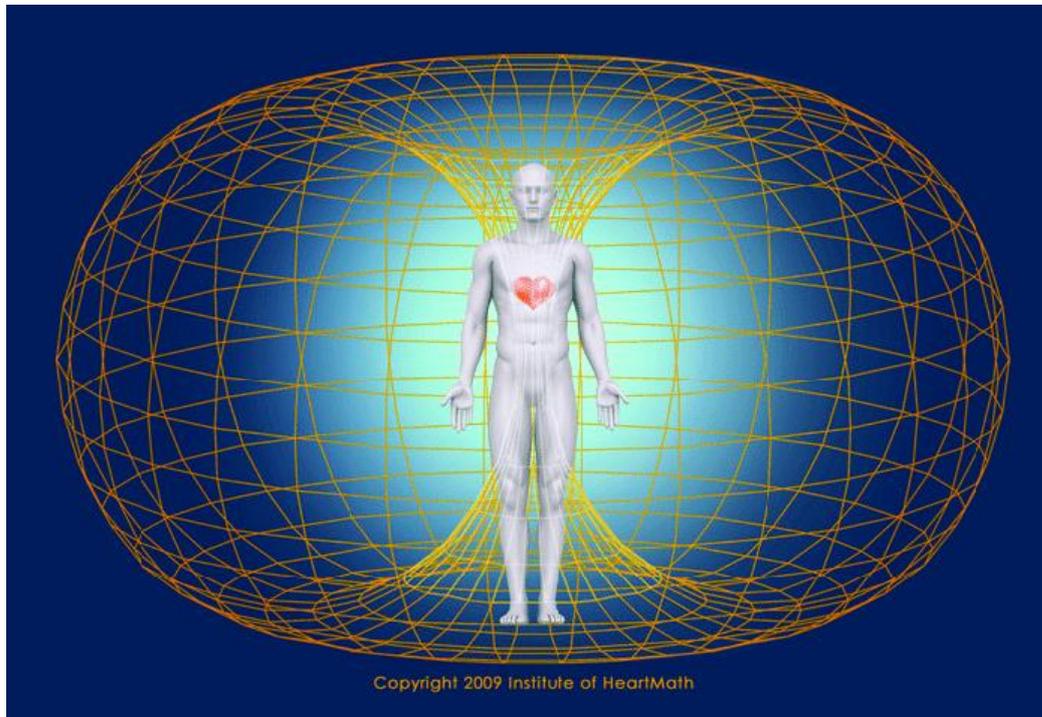
### 電磁場的な身体

身体の情報交換は脳を中心とした神経系によって行われます。その神経系の情報伝達は電気的です。19 世紀後半に物理学者マクスウェルによって、「電流は磁場を生み出す方程式」を完成させたことから、「人間を電磁場として考える」ことができます。

実際にアメリカのハートマス研究所では心臓と脳の神経伝達によって生まれた磁場を研究して感情のコントロール方法として研究しています。下図はハートマス研究所で作成された電磁場的な身体イメージ図です。それはドーナツの形のようなトーラスの形状になっています。

トーラス状に放出される電磁気エネルギーは、1.5-2.5m ほどまで広がっていて身体の範囲よりも大きくなっています。実際 1.5-2.5m というのは測定器の検査範囲の制限のためだといえますので、実際はもっと遠くまで広がっているのです。

そして、心臓と脳のエネルギーを比較してみると、心臓の電場は脳の 60 倍、心臓の磁場は脳の 100 倍も大きなエネルギーを放出していることがわかってきました。



メトロノームメソッドにおいては、100 秒で 1 回のリズムになるロングタイド(Long Tide/長潮汐)になります。液体的な身体(ミッドタイド)でスティルポイントから浮上した時にロングタイドになります。

# ポーション

## ポーション

電磁場的な身体(もしくは液體的な身体)において、起こり得る現象に『ポーション』があります。  
『ポーション』とは潜在性と訳され、治癒力が中心軸からフォルクラムに向かって流れバランスする現象です。

2つのタイプのポーションがあります。

### 1. ハードポーション

中心軸から電撃的にフォルクラムに向かって流れバランスします。

### 2. ソフトポーション

中心軸から液體的な身体の体液よりも粘度の大きい液体が波のようにフォルクラムを覆いつくしてバランスします。

この2つのポーションはどちらが起こるのかは治療者によってコントロールできません。患者側の身体がどのようにフォルクラムをバランスするのかを決定するからです。

### Ex. 1 液體的な身体にセットアップ

スティールポイントから出たら、100秒に一回のリズムになっているかを確認する。

※なっていなかったらもう一回チャレンジ

### Ex. 2 電磁場的な身体のフォルクラムを見つける

ロングタイドになったら Ex. 1 と同様にフォルクラムを見つける。

※凝視しないこと。5%くらいの集中力で見える。

### Ex. 3 CV-4

ロングタイドで CV-4 を行い。そのまま電磁場的な身体がどのようにフォルクラムをバランスするのかを体験する。